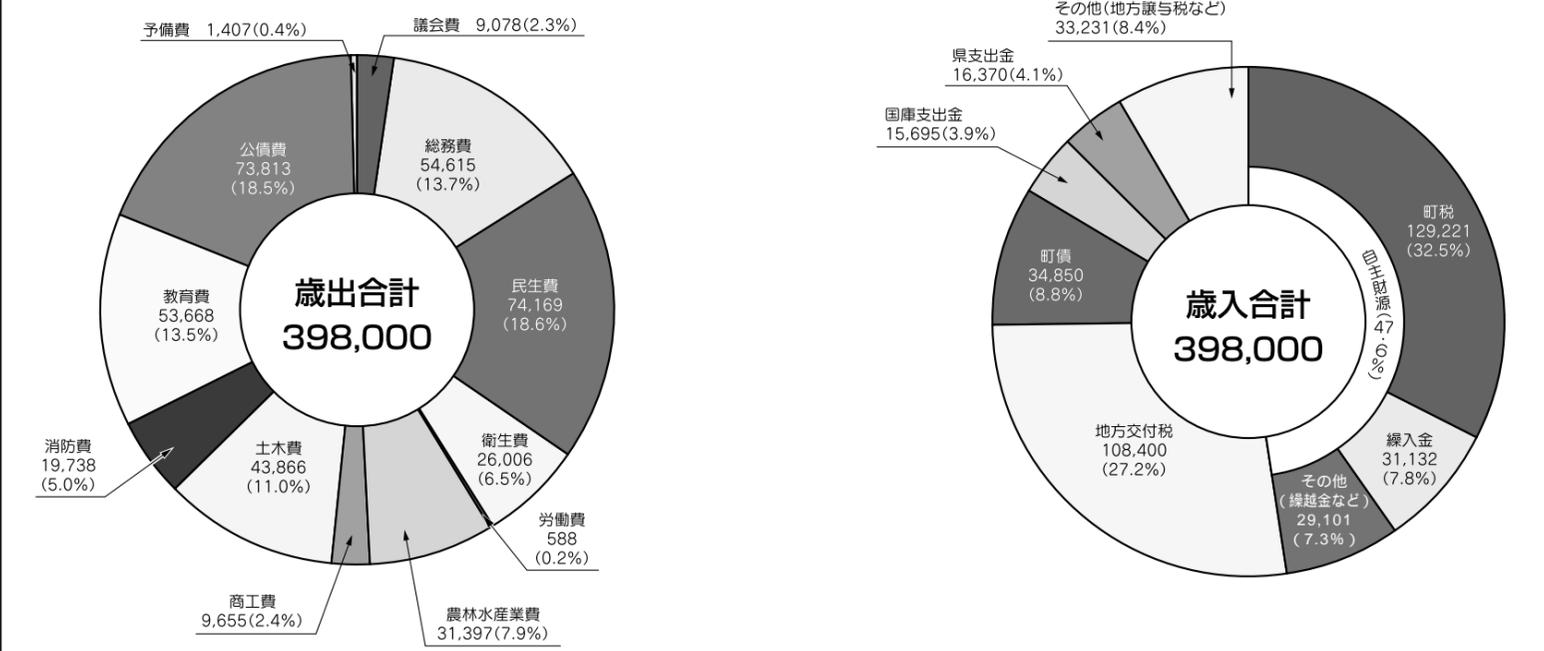


平成17年度 一般会計当初予算内訳

(単位：万円)

平成17年度各会計当初予算 (単位：万円)

会計区分	本年度	前年度	増減率(%)	
一般会計	398,000	417,000	△ 4.6	
国民健康保険特別会計	114,098	112,934	1.0	
老人保健特別会計	102,713	109,409	△ 6.1	
介護保険特別会計	43,300	42,997	0.7	
土地取得事業特別会計	5,747	5,792	△ 0.8	
工業団地事業特別会計	26,391	17,801	48.3	
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	1,300	2,160	△ 39.8	
公共下水道事業特別会計	47,200	56,500	△ 16.5	
農業集落排水事業特別会計	6,300	6,500	△ 3.1	
育英資金貸付費特別会計	1,188	1,218	△ 2.5	
小計	746,237	772,311	△ 3.4	
上水道事業会計	収益的	22,684	22,460	1.0
	資本的	12,605	16,636	△ 24.2
	計	35,289	39,096	△ 9.7
合計	781,526	811,407	△ 3.7	



平成17年度 予算総額

78億1,526万円

町民のみなさんが幸せを実感できる町づくりに

町議会第8回定例会が、3月3日から15日までの13日間開かれ、平成17年度の各会計予算など32議案が原案どおり可決されました。可決された一般会計と特別会計の予算の総額は、前年度比2億9,881万円(3.7%)減額となる78億1,526万円となりました。今月号では、新年度予算の主な内容についてお知らせいたします。

町の予算のしくみ

町の予算は、一般会計、特別会計、企業会計の3つに分類することができます。一般会計は、町行政運営の根幹をなす会計で、福祉や教育、建設など町の事業の大部分をまかっています。特別会計は、特定の事業について一般会計とは切り離し、独立した経理で行う予算で、町では、老人保健特別会計や国民健康保険特別会計、公共下水道事業特別会計など9つの特別会計がこれにあたります。企業会計は、地方公営企業法の適用を受けるもので、上水道事業会計がこれにあたります。

一般会計予算総額は39億8,000万円

一般会計の予算総額は、39億8,000万円です。歳入の主なものは、町税(町民税、固定資産税等)が前年度比34%増の12億9,221万円、次いで、地方交付税(一定の計算方法で国から交付されるお金)が12%減の10億8,400万円、この2つで全体の59.7%を占めました。また、町債(国や銀行からの借入金)が、前年度比38.5%減となる3億4,850万円となりました。歳出では、前年度と比較して大幅に減額となったのは、公債費(借り入れたお金の返済金)で17.5%減となる7億3,813万円になりました。また大幅に増額したものは、鏡石一小の体育館改修推進事業などが予定される教育費で前年度比3.1%増となる5億3,668万円となりました。

平成17年度の予算編成にあたっては、4年目となる第4次総合計画の基本理念である「共に生き 共につくる 牧場の朝のまчи 鏡石」の実現に向け、「快適空間づくり」、「元気づくり」、「活力づくり」、「人づくり」、「地域づくり」の5つの柱を軸に各種事業の重点的かつ効果的配分に努め、一般会計予算の総額では、39億8,000万円と前年度に比べ4.6%、1億9,000万円の減額予算となりました。歳入面については、国の三位一体改革により、地方交付税の影響を受け、依然として先行きが不透明なため、一時事業の休止を行うことになりました。また、ソフト事業として、新たに「(仮称)牧場の朝駅伝・ファミリロードレース大会」の開催、今年で第4回目となる「牧場の朝YOSA K O I祭」や「オランダ祭」、「あやめ祭」の支援、さらに、町の将来を担う人材育成と国際化に向けた海外文化学習事業や児童園児国際化推進事業、そして、各種福祉事業の充実と合わせて、若い世帯への子育て支援として、二小放課後児童クラブ・つどいの広場の開設ほか、幼稚園・保育所における延長保育、やすらぎとうるおいのあるまちづくりのための「フローラのまちづくり」などに取り組み予定です。このほか、平成17年度中に今後5ヶ年の財政計画を策定し、本町の置かれている地域特性と優位性を最大限に活かしたまちづくりを進めて参りたいと考えております。

予算編成にあたって

鏡石町長 木 賊 政 雄

現に向け、「快適空間づくり」、「元気づくり」、「活力づくり」、「人づくり」、「地域づくり」の5つの柱を軸に各種事業の重点的かつ効果的配分に努め、一般会計予算の総額では、39億8,000万円と前年度に比べ4.6%、1億9,000万円の減額予算となりました。歳入面については、国の三位一体改革により、地方交付税の影響を受け、依然として先行きが不透明なため、一時事業の休止を行うことになりました。また、ソフト事業として、新たに「(仮称)牧場の朝駅伝・ファミリロードレース大会」の開催、今年で第4回目となる「牧場の朝YOSA K O I祭」や「オランダ祭」、「あやめ祭」の支援、さらに、町の将来を担う人材育成と国際化に向けた海外文化学習事業や児童園児国際化推進事業、そして、各種福祉事業の充実と合わせて、若い世帯への子育て支援として、二小放課後児童クラブ・つどいの広場の開設ほか、幼稚園・保育所における延長保育、やすらぎとうるおいのあるまちづくりのための「フローラのまちづくり」などに取り組み予定です。このほか、平成17年度中に今後5ヶ年の財政計画を策定し、本町の置かれている地域特性と優位性を最大限に活かしたまちづくりを進めて参りたいと考えております。

